

## 半月板損傷の病態と治療 -Save the meniscus-

弘前大学大学院 医学研究科 整形外科

石橋恭之

### 【抄録】

半月板損傷は頻度の高いスポーツ外傷の一つであり、歴史的には関節切開による切除術が行われてきた。しかし半月板は、膝関節において関節安定性の維持や荷重分散機能など重要な役割を担っており、切除術はその機能を失うことを意味する。近年、より侵襲の少ない鏡視下部分切除が広く行われてきたが、たとえ部分切除であっても長期的には関節症性変化が進行する。このため可能な限り半月板を温存する努力が必要であり、以前に比較し半月板縫合術の適応は拡大している。また小児に多い円板状半月損傷に対しても、その機能を温存するために、損傷形態を詳細に検討し、形成的部分説と縫合術を選択すべきである。